

はじめに

私の勤めている大学で学生達や職員が使用している通信端末は、ほぼ100%がスマートフォンでしかもその半数以上がiPhone、という状況がここ数年続いています。

当然のごとく、皆で集まって写真を撮るときには、iPhoneに付属するカメラを使用しています。ところが、いざ撮影となると露出補正したり、ズーミングできたりすることを知らない学生が多々みられます。これはと思い学生達に詳細に聞いてみると、彼らは「LINE」と「カメラ」（しかも基本機能のみ）ぐらいしか使用経験がなく、もともと入っている基本的なアプリは何をするものなのか知らず、メールすら使ったことがない、という人が多数を占めていました。いやはや、全くもってもったいない話です。

一方、書店を覗けばiPhoneやiPadに代表されるスマートフォンやタブレットの活用本が数多く見受けられますが、PTやOTをターゲットにしたものはまだありません。また、多くの活用本はサードパーティーの専用アプリを紹介するのみで、本来の“アプリを活用する”ということに言及していないように思えます。

そこで、われわれはセラピストとして、教員として、あるいは学生としてiPhoneやiPadを本当に活用するできるようになることを目標とし、この本を作りました。内容としては、Apple純正アプリを主軸とし、サードパーティーのアプリは一部を除いて無料あるいは安価なものを中心に、活用のためのアイデアを載せています。

もちろん、セラピストでない皆さんにも十分価値のある内容かと思います。今手にもっているiPhone・iPadを思う存分活用しましょう！

2019年6月

森ノ宮医療大学保健医療学部理学療法学科
河村廣幸